



## 「インスピレーションになろう」 BE THE INSPIRATION

2018-19年度 RI会長／バリー・ラシン RI.D2590ガバナー／金子 大 横浜旭RC会長／市川 慎二

国際ロータリー第2590地区

### 横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NJTS1階／〒241-0821  
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712  
http://yokohamaasahirc.cho88.com  
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル  
(株)岡田屋 3階会議室

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



被災地の子ども達にクリスマスプレゼント



チャリティーコンサート



ガールスカウトとクリーン作戦

2018年8月1日 第2346回例会 VOL. 50 No. 5

■司会 SAA 後藤 英則

■開会点鐘 会長 市川 慎二

■斉唱 君が代、奉仕の理想

#### ■出席報告

会員数	31名	本日の出席数	26名
本日の出席率	96.30%	修正出席率	100%

#### ■本日の欠席者

大川

#### ■他クラブ出席者

新川 (地区)

#### ■ゲスト

沈 佳穎様 (米山奨学生)

#### ■8月誕生記念祝



内田 敏会員 8.9

矢田 昭一会員 8.13

二宮麻理子会員 8.20

#### ■会長報告

##### 会長報告

皆様、こんにちは。先週末は、台風12号が東から西へ横断するといった初めての経路に驚きましたが、皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

こども自然公園では旭ジャズ祭りも無事に開催され、盛況だったと伺いました。私はいくつかの行事が重なり出席できませんでした。出席された皆様は素敵なジャズを聴きながら、楽しい一時になれたと思います。

また週末には、幼稚園の子どもが大勢参加しているピアノの発表会が瀬谷公会堂で行われ、強風ではありましたが、観覧してきました。みんな練習の成果を発揮しており、感動しました。

さて、今月は「会員増強拡大月間」です。会員増強につきましては、長きにわたって掲げられ、これからも続く課題です。友人や新しい職業、女性、若い世代、元ロータリアンやその御子息など今まで断られた方も含めて、これまで以上に視野を広げていかなければ、会員を増やすことはできないと思います。

本日は、兵藤会員増強フォーラムです。フォーラムから当クラブならではの増強に繋がりがやすいヒントが得られればと思っていま

す。兵藤会員、どうぞ宜しくお願い致します。

#### ○地区関係

#### 1) RLI (ロータリーリーダーシップ研究会) パート1 開催

日時 9月9日(日)

ロータリーの知識や理解を深めるための  
ディスカッション方式の研修会です。

ロータリーを学び、ロータリーの楽しさを分  
かち合える場にもなります。

とくに、将来有望な中堅、若手会員に参加  
を呼び掛けるようにと言われておりますが、  
参加希望の方は、事務局までお申し出くだ  
さいませ。

#### ■幹事報告

#### 1) 例会臨時変更のお知らせ

#### ○横浜保土ヶ谷ロータリークラブ

日時 8月14日(火)休会

#### ○横浜南陵ロータリークラブ

日時 8月2日(木)通常例会

ガバナー補佐公式訪問日

日時 8月9日(木)休会

日時 8月16日(木)休会

日時 8月23日(木)通常例会

ガバナー公式訪問日

日時 8月30日(木)→25日(土)移動例会

家族会

#### ■高梨会員近況報告

五十嵐 正

私は折々にクラブの事を手紙にして高梨さ  
んに送っております。今回は以前皆様にもお  
配りしました、クラブの災害対策のこれま  
での取組をご説明したプリントと、真吾さん  
がまとめました9月26日の体験例会のチ  
ラシを同封しました。昨日そのご返事とし  
て電話を頂戴し、いろいろとお話しをさせ  
て頂き、高梨さんはクラブが随分と変わっ  
てきたと喜んでおりました。

今はご自身として病気はないが、加齢によ  
る足腰の衰えと付き合っているとの事です。  
皆様とお会いしてたいのですが、奥様に認  
知症があり、家を空けることが出来なくな  
りました。私の病気の事とかいろいろ話を  
させていただき、最後にクラブの今の活動  
の様子

を知り、私も名誉会員として最低のお手  
伝いはしたいとの言葉を頂戴し、ニコニコ  
の分とか、災害対策基金が立ち上がった時  
は、個人としても会社としてもお手伝いし  
たいと申し出を頂きました。

機会がありましたら皆さんとお目にかかり  
たいし、新しい会員さんとも是非お話が  
したい。皆さんによろしくお伝えくださ  
いとの事でした。

#### ■金沢動物園コアラ来園 30周年記念植樹式

二宮 登

7月10日、金沢動物園ユウカリ広場で、  
オーストラリアの国花ミモザを大使館の  
マイケル・ホイ参事官、来日中の市立金  
沢学園の姉妹校、メイフィールド校の  
児童、金沢学園の児童、横浜市みど  
りの協会、横浜日豪協会の代表者  
にて記念植樹されました。



左より3人目：マイケル・ホイ参事官  
一人置いて二宮会員  
横山市議員  
横浜市職員の方々

#### ■クラブ基盤管理セミナー Part.1 出席報告

新川 尚

日時 7月19日(木)午後3時～5時

場所 横浜ベイシェラトン

地区役員の挨拶のあと、クラブ事例発表  
として「魅力あるロータリークラブを創る  
ためのクラブの取り組み状況」をテーマ  
に、川崎RC、川崎西RC、横浜瀬谷RC、  
横浜南RC、横浜戸塚西RCより発表が  
ありました。休憩を挟んで「魅力ある  
ロータリークラブ創り」をテ

ーマにテーブル討議があり、各テーブルから討議内容の発表がありました。

全体を通して、会員増強が最終目標であり、そのためのクラブ基盤の強化があると感じました。地区としてDLP、CLPの推進を言っていました。それも増強のためというニュアンスを強く感じました。しかし、クラブ事例発表やテーブル討議では特に目新しいものはなく、参考になりそうなものはありませんでした。

## ■ 5分間情報

新川 尚

「ポリオ」という病気

ポリオ（急性灰白髄炎）は非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもです。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもあります。

ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。神経系を侵すこともあり、これによって身体のみひを引き起こす可能性があります。

治療法はありませんが、安全なワクチンで予防が可能です。ロータリーとそのパートナー団体は、これまで世界中25億人以上の子どもにワクチンを投与する活動を行ってきました。

ポリオ撲滅活動は、ロータリー、ユニセフ、米国疾病対策センター（CDC）、世界保健機関（WHO）、ビル&メリнда・ゲイツ財団、各国政府がサポートする「世界ポリオ撲滅推進活動」（GPEI）と世界中の支援者によって進められてきました。

ロータリーは、会員のスキルと熱意を生かして地域社会での認識向上、募金、ポリオ撲滅支援のための政府への働きかけを行っています。世界に100万人以上いるロータリー会員が、ボランティアでポリオ予防接種や募金活動に協力しています。

○ポリオを地球上からなくす5つの理由

1) ウイルスを撲滅せず、感染を抑止するだけでは、今後10年以内に発症者数が20万人に跳ね上がると予想されています。

2) ポリオ撲滅の手段、そしてすべての子ども

にも予防接種を行うための手段が、私たちには備わっています。また、予防接種だけでは疾病は撲滅できません。そのほかにも数多くの努力が必要とされます。

3) 「ポリオのない世界」への世界的投資により、今後20年間に400～500億ドルの経済的恩恵がもたらされると専門家は見ています。

4) ポリオ撲滅の取り組みによって、感染症を徹底して監視するためのネットワークが世界各地に築かれました。

これにより、今後も世界中の地域社会を守っていくことができます。

5) 世界中すべての子どもへの予防接種が可能であることが実証されれば、今後の世界的な公共保健活動の可能性をさらに広げることができます。

○なぜ資金が必要なのか

ポリオが今も残る国は3カ国だけなのに、なぜ15億ドルも必要？

ポリオを撲滅するには、野生型ウイルスによる発症が起きている3カ国（アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタン）で、ウイルスの感染を断ち切らなければなりません。

さらに、既に「ポリオフリー」となった国にウイルスが流入しないようにする必要があります。

ウイルス流入のリスクが高い国々（最高60カ国）では、現在も子どもへの大規模な一斉予防接種キャンペーンが行われています。

すべての子どもがポリオにおびえずに暮らせる日が来るまで、活動をやめるわけにはいきません。

ポリオの撲滅が近づくにつれ、世界中すべての地域から本当にポリオがなくなったことを確認するため、発症者の特定やウイルスの検知といったサーベイランス（監視）がますます重要になります。

身体のみひを引き起こすのは全ポリオ症例のわずか200分の1。このため、ポリオが存在する（または存在しない）ことを確認するための徹底した監視と研究所ネットワークに大きく頼っています。

○3分間でできる3つのこと。  
みんなの力で世界を変えよう。

1) 学ぶ

「ポリオってどんな病気？」

「なぜ撲滅する必要があるの？」

ポリオという病気について知り、友人との会話の話題にしましょう。

2) シェアする

「ポリオはもう根絶された」と思っている日本人は意外と多いでしょう。

しかし、ポリオウイルスは今も世界中で子どもを苦しめています。ポリオ撲滅のメッセージを大勢の人に伝えてください。

3) 寄付する

ワクチンの購入と輸送、予防接種活動に必要な物資など、すべてのご寄付がポリオ撲滅に役立てられます。

■沈さん、近況報告



皆さんこんにちは、夏休みになりました。私は卒論をなるべく早く書こうと思って、今は二万字の卒論の内、一万字が終わりました。

昨年、私のゼミの先生から、卒論提出一番最後の日の盛況を見に行ったらどうと言われ見にいったら、いろんな人が卒論を提出していました。

そんな中ある人がタイトルのフォーマットを間違え、返されて提出時間に間に合わず、一年留年したのを目撃し、そうはなりたくないとい早めに提出しようと心掛けております。あと一年はいやなので。

■先週掲載出来なかった原稿

○第3回クラブ協議会

プログラム委員会

佐藤 真吾

今年度のプログラムの基本構成は、例年通りとしながら、第四週で外部卓話（体験例会を含む）を多く取り入れ、各界でご活躍されている著名な方や、地域の行政・防災・防犯を担っている各所の長をお招きして、貴重なお話しを伺う機会にしたいと思っています。

9/26 (水) 弓馬術礼法小笠原流

小笠原清基氏（体験例会）

10/24 (水) 神奈川県旭警察署長 市川弘幸氏

11/28 (水) 横浜市旭区長 下田康晴氏

3/27 (水) 横浜市消防局旭消防署長 川村滋氏

4/24 (水) 未定（体験例会）

また、卓話バンクも積極的に取り入れていきたいと思っています。

卓話担当の会員で卓話バンクを希望される方は、プログラム委員会にご相談下さい。

■ニコニコ BOX（会員敬称略）

市川 慎二／①本日は増強フォーラムです。皆様宜しくお願い致します。②沈さん、ようこそ。

安藤 公一／①兵藤先生、本日の会員増強フォーラム宜しくお願い致します。②高校野球神奈川県代表が横浜高校と慶応高校に決まりました。甲子園での活躍を祈ります。

二宮麻理子／①毎日暑い日が続いております。皆様お体に気をつけて下さい。②お誕生日祝をいただき、有難うございます。

吉原 則光／超真夏日じゃ、この暑さ、例会負けずに頑張りましょう。

内田 敏／誕生日祝いを頂き、ありがとうございます。

兵藤 哲夫／①転移なし、抗がん剤なし、とここまではありがたい。だが未だ復腸かなわず。②増強委員会の皆様、お世話になります。

目黒 恵一／妻の誕生日にお花ありがとうございました。

後藤 英則／北澤さん、ジャズ祭りご苦労様でした。楽しませて頂きました。

新川 尚／北澤さん、旭 JAZZ 祭りではお世話になりました。

北澤 正浩／ジャズまつりにご来場いただきました方々と横浜旭ロータリークラブに心よ

り感謝申し上げます。

須藤 亘／先日、旭ジャズ祭りにお伺いしてきました。前日の台風にも負けず熱気のあるイベントでした。楽しかったです。

佐藤 真吾／①本日の会員増強フォーラム、兵藤会員よろしくお願ひします。②米山奨学生、沈さんようこそ。

関口 友宏／北澤さん、ジャズまつりお疲れ様でした。「ロータリー席」のご配慮に感謝して。

## ■拡大増強フォーラム

### ○兵藤哲夫委員長より



小生、大腸がんというアクシデントにみまわれ、委員長の役目が果たせず申し訳なく思っています。わたしに代わって副委員長の内田会員が代役をはたしていただき、感謝しております。

本日は会員増強フォーラムです。委員であります太田勝典さんと佐藤利明さんにスピーチをお願いしております。委員の皆様を重ねて感謝申し上げます。本日は宜しくお願ひ致します。

### ○太田勝典会員

今日は会員増強委員会のフォーラムです。兵藤委員長は体力不安定との事で佐藤利明会員と私の方へ話がありました。私も増強委員会のメンバーです。兵藤会員には大変お世話になっておりますので、断る事は出来ませんがご容赦下さい。

当クラブは来年50周年を迎えます。50周年記念委員会も発足し準備が進んでいますが、



この50年のクラブ歴史と増強とのつながりを調べてみました。

50年前当クラブは保土ヶ谷ロータリークラブの子クラブとして会員25名で発足しました。その後会員は少しずつ増えましたが、発足して12年後、一昨年他界された吉野会長の時に31名から46名に約50%増となりました。その後8年間少しずつ増え、1990年66名でピークとなりました。

その後バブル崩壊を境に減少し、25年後の2015年29名まで落ち込み、最近は横ばいです。ピーク時66名の約半分ですが、この減少率は当クラブに限らずロータリー日本全体の傾向です。ロータリークラブと比較されるライオンズクラブも同じ様な状態の様です。旭ライオンズクラブも苦戦しています。

当クラブ50年の歴史の中で特筆すべきは吉野会長時代の50%増でしょう。

なぜこのような会員増強が出来たのか、以前増強フォーラムで吉野会長からお話を聞いた事が印象に残っています。その方法は会長自らが率先して知人宅を何回も訪問しロータリーの良さを時間をかけて説明し、一人一人増やしたそうです。会長になる前にリストを作り、時間をかけて準備し一人一人つぶしていく。あたりまえの事ですが、私達凡人にはなかなか出来ません。

車のセールスと同じで多くの見込み客リストを作り、時間をかけて何回も足を運び絞り込んで、その真剣さで成約に持ち込む。分かっていますが、私達にはそこまで踏み込めません。会長の時は会員増強を第一に掲げ、自ら

が実践する。これしか無いのかも知れません。

幸いな事にロータリーの会長は単年度役員です。

ロータリーでは一番油の乗った時期に会長を受けるべきです。会長を受ける時期は早過ぎる事無く遅すぎない時期、一番やる気のある時が最適でしょう。会長は一度しか回ってきません。このチャンスを逃す手はありません。

会長候補者は3年前に指名されます。事前の2年間は、充分充電にあて自分が会長時これをして、あれもしたいと案を練る事です。会員増強を第一に掲げて多数のリストを作り時間をかけて相手にロータリー入会の心の準備をさせる。相手が断れないように心を込めて誠意を尽くす。これを実践し会長時に結果を出す。吉野方式を実践する事がまさに会員増強の要かもしれません。

今期の市川会長は誠意を持って事にあたっており敬意を表します。さすが矢田会員の推薦と期待しております。

次年度は佐藤真吾会長です。佐藤利明会員よりしっかりしていそうなので期待が出来ます。

1年程前になりますが、会員増強で私も3名候補者の名前を出しましたが3名とも佐藤真吾会員は既にアプローチをしておりました。今からいくつかの隠し玉を用意している様です。一生に一度の会長です。是非花を咲かせて下さい。

私がロータリーに入会したきっかけは何だったのか？振り返ってみました。

30年程前になりますが、二俣川駅前の協進不動産の社長だった土谷弓彦氏が当クラブの会員でした。ある時彼が「週に一度1時間だけ付合わないか。年に30万円程かかるが昼飯を食べにすれば良い。それ以上に良い事があるよ。」と誘われました。私は彼と同じ年齢でしたが、人間的にも全ての面で彼を尊敬しておりましたので断れず入会しました。当時週2度名古屋まで仕入に車で通っており、時間の余裕も無く続けられるか心配でした。一時

止めようかと思いましたが、良き友も出来ました。

現在ではロータリーに入会して良かったと感謝しております。私も5人の会員増強をさせていただきましたが皆さん親友でした。親しい友を心を込めて時間をかけて入会を勧める事が会員増強ポイントと考えています。

○佐藤 利明



「会員増強に因み」

増強とは奉仕の理念を持ったロータリアンを一人でも多く増員して育て、地域社会に世界各地に奉仕貢献することであると思う。我々はロータリークラブにロータリーの奉仕の理想に魅力を感じて入会した同志である。お互いにロータリアンとして誇りを持ってロータリーライフを楽しんでいる。それは親睦であり奉仕であり友の輪であると思う。

しかしながら我々ロータリアンがもっとロータリーを楽しむためには、先ずロータリーを知らなければならない。ロータリーを勉強し良く知ればロータリーが好きになる。ロータリーが好きになって初めてロータリーを楽しむことが出来るわけです。

そして我々のためにも新しく誘う多くの同志のためにも魅力ある充実したクラブを作るのが第一であると思っています。例会に魅力がある、そこには素晴らしい仲間がいる。親睦と奉仕を基本に皆燃えている。親睦から友情が生まれ、友情から善意が芽生え、善意が奉仕に発展していく。我々はロータリアンとして相手の心を大事にし、自分の心をやさしく温かく伝えていきたい。

さて増強であるが、増強自体の難しさよりも増強しようという気持ちに会員の心を向けさせる事の方が難しいと言われている。全会員の中で何%の会員が新しく会員を増やすべく知人友人に声を掛け誘ったことがあるだろうか。90%の会員は一度も誘っていない、声を掛けていないと言われている。何故か。一つには自分達の活動に自信がない。又クラブ例会に魅力を感じないので誘えない。又ロータリーのことを良く知らないので説明が上手く出来ない、等々である。

RI 会長が必ず年度のスタートに当たって揚げられるのが会員増強である。毎年毎年会員増強が訴えられている。従って増強に関していろいろ提言はされている。『ロータリーの友』あるいは『ガバナー月信』等でも必ず掲載されているので会員諸兄はご存知であると思う。クラブ会長、幹事、増強委員長は、責任上誠に苦勞なことと思う。又ここ何年かは退会防止についても訴えられている。何故退会者が出るのか。社会環境か、経済情勢か、ロータリーになじめなかったのか、又ロータリーに何か欠けているものがあるのか、一言では片付かないとは思っておりますが。引き留め策はないのか。自分達が魅力を感じて入会したロータリーに何故退会届を出さなければならなくなったのか。事情は各々あると思うが非常に残念である。

増強については、過去勉強したことが肥やしとなっておりますので内容も日新しいものとは言えないと思います。地区協議会に参加してリーダー、サブリーダーから講義を受け勉強をしてまいりましたが、答えはそう多くは見られませんでした。

ロータリーの最重要活動は会員増強であることは論を俟たないわけであり、奉仕も親睦も会員が集まってのの上に成り立っているわけです。増強を等閑にしておけば必ず消滅してしまう。人の死による自然減があるからであります。私は今は終結してしまいましたが、鶴峰 RC に在籍していた当時、知人・友人に声を掛け入会していただきました。鶴峰 RC では

二度の会長を務め、会員増強委員会にも度々入り我ながら出来る限りの活動に参加してきました。会長を務める3～4年前から声掛けをし、いわゆる根廻しておりました結果「佐藤が会長を務めるのなら協力するよ、応援するぞ」と10数名の友人が入会してくれました。その結果には聯かなりとも貢献できたと自負しております。…が、退会者が出てしまったのも事実であります。

さて地区協議会に出席して、リーダー・サブリーダーの考え方、又他クラブの担当会員のご意見をお聞きしました。次のようなご意見を拝聴した。

- ・ 手続要覧（特に職業分類）が非常に理解しにくくなってきている今、RI が何と言おうとクラブ細則をしっかりと検討して自分のクラブに合った、又活動しやすいクラブ細則をしっかりと作り確認した方が良い。
- ・ なお手続要覧が日本語版で出版されたのは1954年であり、70名～80名の会員数をもつクラブを対象に作成された様である。
- ・ 連続4回欠席しても退会にはならない様である。クラブ理事会がしっかりした見解を持って決めることである。  
(クラブ細則の検討)
- ・ 会員増強において、例えば地区ガバナーが1名、各クラブ会長が1名(57クラブ)、各増強委員長が1名(57クラブ)新会員を推薦して増強につながれば、地区としては115名の会員増になる。この例のごとく各クラブでも考えられないか？
- ・ 職業分類の弱い所を特に勧誘する。
- ・ 名寄せリストを作成する。
- ・ 名寄せリストに基づき勧誘する。
- ・ プロジェクトチームを作り勧誘担当者を決める。
- ・ 勧誘担当者には状況報告をしてもらう。  
(しつこいくらい誘ってほしい)
- ・ 先ず例会を見に来てもらう。  
(プログラムを検討しながら)
- ・ 「ロータリーのあれこれ」という小冊子を配布すると効果がある。

- ・質と量の問題は先ず、入ってからの事である。門戸を開いて先ず入ってもらう事である。
  - ・クラブに入ったからと言って次の日からロータリアンとして公平に見るのも良いが、長年奉仕活動を共に関係してくれば自ずとロータリアンとして意識をする様になり、成長し使命感を持った素晴らしいロータリアンになるのではないか。
  - ・大義名分がなくして大きな目標が成り立たいし魅力的なクラブにならない。
  - ・青年会議所（JC）が終わった時に勧誘したらどうか。
  - ・年会費は現在のままで良いのか。  
某クラブでは H11 年度から H15 年度にかけて会費を 3 度見直した様である。32 万円だったのを 28 万円に、そしてその後 24 万円にまで下げた結果、増強がしやすくなったとのことでした。
  - ・会費と寄付金の割合を考える。  
(税務上、交際費にするのか  
寄付金にするのか、取扱いの問題)
  - ・徴収方法を考える。
  - ・クラブ活動基金を募る。
  - ・メイクアップ料を考える。
  - ・クラブリーダーを決めたら。
  - ・病気等で出席出来ない会員は会費を考慮したらどうか。
- 「新会員の育成について」
- ・情報教育が徹底していない  
入会前、入会時、入会后少なくとも 3 回位は一緒に酒の席でも設けて気軽に接したらどうか
  - ・新会員をいかに大切に育成していくか。  
ファイヤーサイドミーティング（家庭集会）を出来るだけ多く行う
  - ・積極的な育成は増強につながる。
  - ・消極的な育成は退会につながる。
  - ・多勢退会していくクラブに新しく入ってくる人はいないのではないか？
  - ・今ロータリークラブに入るとしたら自分自身として自分のクラブに入るだろうか？
  - ・新会員が受付に立って、先輩会員を迎え

名前を覚え挨拶をかわす事により親密度が増す。

- ・メイクアップについてはメイクアップのチームを作って慣れていない会員を先輩会員が誘うようにしたらどうか。
- ・何とか女性会員を増やす努力をすべき。
- ・女性会員がいるとクラブが活性化する。
- ・女性会員がロータリーの活動を良く知ってもらうことは非常に宣伝になる。
- ・女性の特性を十分理解した活動を見出した

以上が地区協議会で勉強して参りました概要であります。

当地区の今は亡き中山義之 PG がポールハリスの声として話されていることを引用すれば「俺たちが自慢したいものが一つある。それは我がクラブの会員は皆、正直で誠実だということだ。俺たちは金持ちでなくても、有名人でなくてもよい。正直な人の集まりを作ろうとしているのだ。親睦つまり友愛の心が、クラブの基礎となり、会員は皆、友情にあふれる人であればいい。この様な思いがやがて、善意、寛容、奉仕へと発展していった」と話されています。

私たちロータリアンは「善意」を共通項にして集まったごく普通の人たちです。人間の善意を信じ「思いやり」を足場にし、人を愛し尊ぶことにより住みよい社会、平和な社会を目指したいと思っています。こう話されています。

我々会員は更に一層優秀なロータリアンを目指し日々努力をし、又常に新たな血を導入してクラブの若返りを計り強化永続させたく思うわけです。

ロータリーの意義など説いてもそれで入会する人はいない。あの人がいるから、あの人に誘われたから入る。そういうものでしょう。

#### ■次週の卓話

8/15 休会

8/22 吉原会員

「私の昭和 20 年（1945 年）」

週報担当 内田 敏